

# 帰国生 入試情報

## 帰国生の中学・高校選びQ & A

～受験生と保護者の疑問にお答えします。

米日教育交流協議会・代表 丹羽 筆人

帰国予定の方にとっては、お子さんの帰国後の学校選びは大きな課題の一つです。帰国後の住所や帰国時期(学年や学期)によって受け入れ先が異なりますし、滞米年数や来米時期によってお子さんの日本語力が異なるので、それに合わせた学校選びや受験対策が必要になります。ここでは、帰国後の学校選びの際によく聞かれる質問について回答します。

**Q. 帰国するタイミングはいつがよいのでしょうか。**

**A.** 高校入試では国内外を問わず9年間の学校教育課程を修了していることを条件にしている学校が目立ちます。つまり、高校入学時にアメリカの学校の9年生を修了していないと受験できないということになります。この条件をクリアできない場合には、帰国して日本の公立中学を卒業するという方法があります。公立中学は住民票があれば必ず受け入れてくれますが、中3の2学期以降は快く思われないこともありますので注意が必要です。一方、中学入試では6年間の学校教育課程を修了していなくても受験できる学校が目立ちます。

また、編入(中学入試では中1の4月、高校入試では高1の4月以外の時期での入学)は定員に欠員が生じた場合のみ募集することもあり、必ず実施されるというものではありません。また募集人員も多くはなく、時には高倍率になることもあります。中高一貫校の場合は高1の4月でも編入です。編入では入試日や入試科目などが公表されないこともあり、受験校の選択や受験対策がしにくいのが問題です。帰国時に編入する場合には早めの受験校情報収集と学習対策が必要です。

編入では帰国する時期も重要です。私立中では3年生での編入は実施しない場合が目立ちます。また、中高一貫校でも中学3年生での編入学は実施しない学校もあります。高校では高1の4月に入学しない場合にはすべて編入であり、学年が上がるにつれハードルも高くなり、高3からの編入はほとんどありません。遅くとも高2の夏休み明けまでに編入するのが望ましいでしょう。

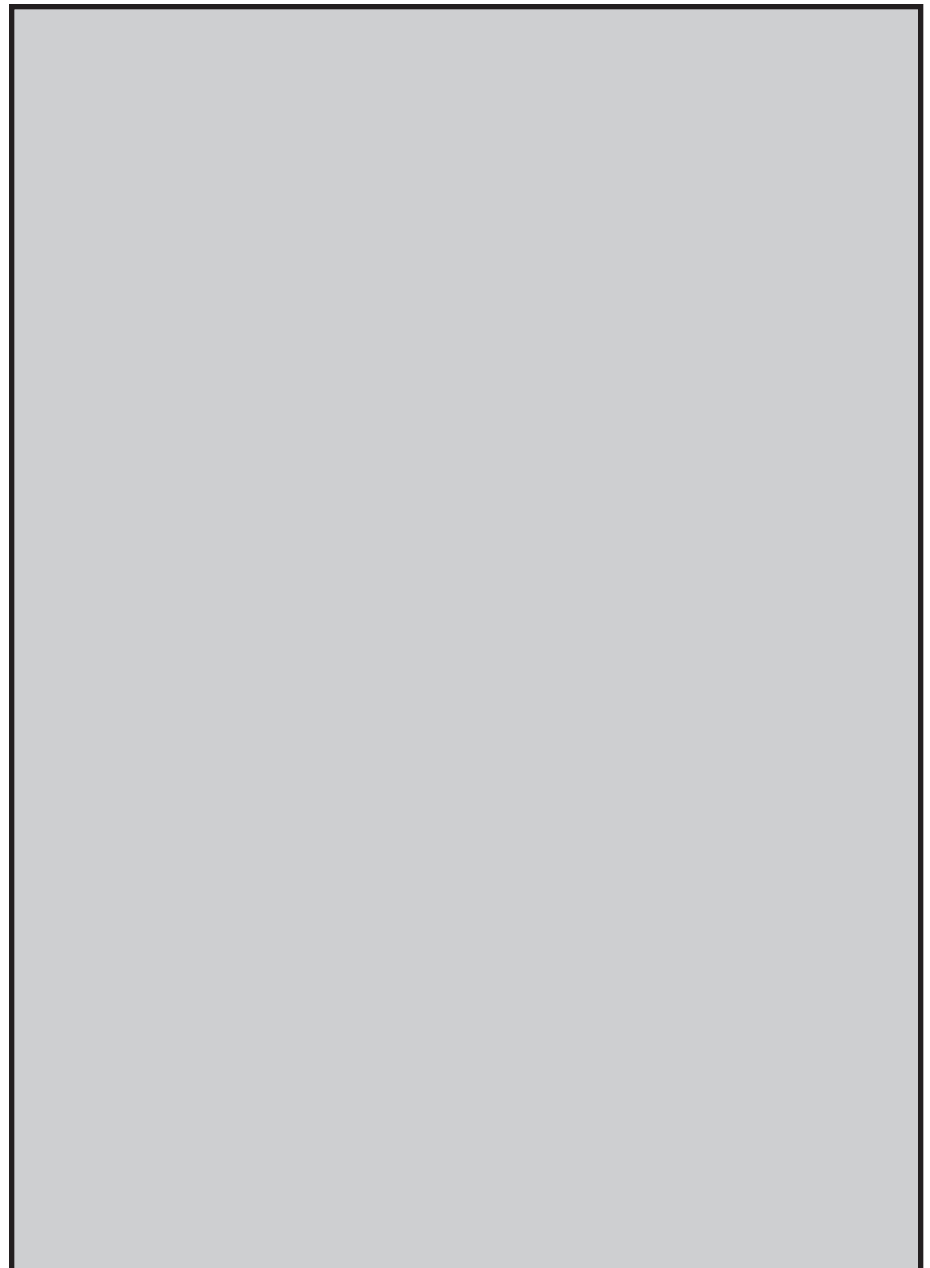
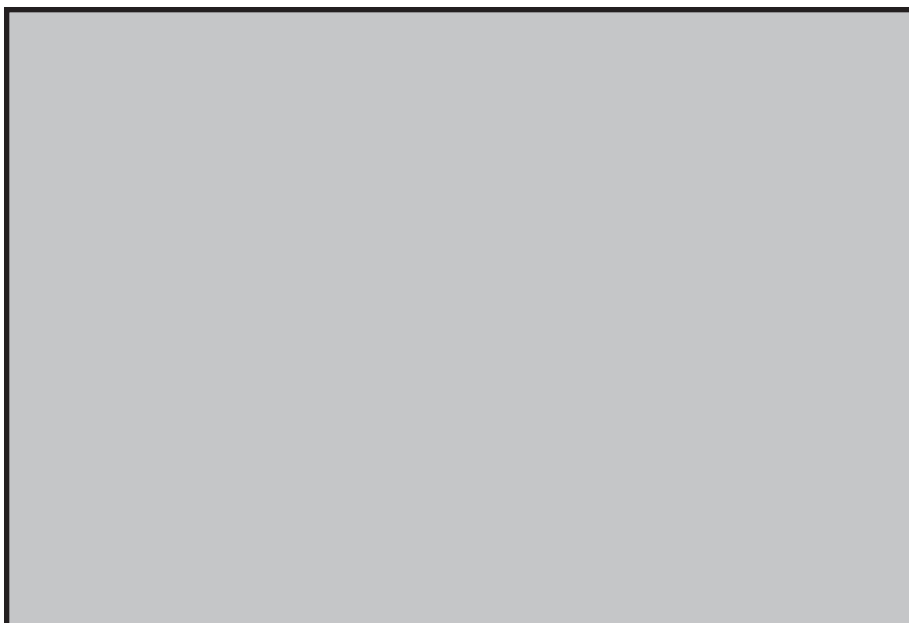
一方、高校編入で注意したいのは、卒業後の大学受験です。ほとんどの国公立大や早稲田大、慶應義塾大の一部の学部などでは、海外の高校卒業を帰国生大学入試の出願要件としています。海外の高校を卒業していなくても出願できる大学でも、日本の高校在学期間を1年半以内とか2年以内などと定めていることがあります。したがって、海外の高校卒業前ならば高2の4月以降に編入することをお勧めします。

**Q. 帰国生の公立高校入試は国内生とどう違うのですか。**

**A.** 公立高校では、調査書(中学校の成績など)と学力検査(国語、数学、理科、社会、英語)を総合的に評価して入学者が選抜されます。ただし、帰国生への対応は都道府県によって様々です。

まず、大多数の都道府県が帰国生に対して特別な配慮をするのに対し、新潟、香川、徳島、愛媛ではそれを明示していません。また、次の18の都道府県(北海道、福島、茨城、千葉、東京、神奈川、富山、石川、静岡、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、岡山、福岡、大分)では帰国生受け入れ高校を特定校に定めているので、それら以外の高校では特別な配慮はないといえます。その他の25県ではすべての高校において特別な配慮がされることになっています。ただし、入試での負担軽減がほとんどで、入学後のサポートはあまり期待できません。全国で帰国生が10人以上いる公立高校は30校ほどですし、ほとんどの高校では帰国生がいないとか在籍したことがないというのが実態だからです。一方、帰国生在籍数の多い高校では、ある程度のサポートは期待できそうです。ちなみに帰国生在籍数が20人以上の公立高校は次の通りです。東京都立:国際、三田、竹早、神奈川県立:横浜国際、神奈川総合、鶴嶺、新城、横浜市立:東、静岡県立:浜松北、愛知県立:千種、豊田西、刈谷北、大阪府立:住吉、千里、神戸市立:葺合

次に、入試科目に目を向けると5科目が22道県、3科目が18都府県、2科目が2府県で、それ以外が5県です。3科目の都府県の多くでは国語、数学、英語が課されま



すが、長野は数学、理科、英語の3科目ですし、山梨と熊本では5科目のうち3科目を選択できます。学力検査を課さない5県の内、兵庫は適性検査と小論文、岡山は調査書と面接、福島、長崎、鹿児島は作文のみです。なお、栃木、群馬、神奈川、長野、岐阜、三重、大阪、奈良、広島、福岡、熊本では学力検査の他に作文または小論文が課されます。また、札幌市立の4校は英語のみ、都立国際は英語の作文のみで受験できます。

このように公立高校の帰国生入試は都道府県によって様々ですので、各々の教育委員会にて情報を収集し、対策を立てることをお勧めします。

#### Q. 帰国生への配慮をしない公立高校ではどんな入試が行われるのですか。

A. 帰国生への配慮をすると明示していない新潟、香川、徳島、愛媛の各県や、帰国生の受け入れ校を定めている18の都道府県(北海道、福島、茨城、千葉、東京、神奈川、富山、石川、静岡、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、岡山、福岡、大分)の受け入れ校以外の高校では、帰国生を全く受け入れないということではありません。実際にこのような高校に入学した生徒は何人もいます。ただし、入学後の特別なサポートはもちろん、入学試験における優遇措置などは期待できません。

例えば、入学試験においては、国内生と同様に英語、国語、数学、理科、社会の5教科を受験しなければならなかったとか、国内生と同様に中学校の成績の評定を点数化したいということで、海外の学校で受講したクラスの成績を日本式の5段階評価に換算したというケースもありました。また、編入試験においては、一緒に受験した生徒に海外からの帰国生はおらず、他の都道府県から引っ越してきた生徒ばかりだったということもよく耳にします。

このような状況を考えると、学校選びの際には、まずは帰国生受け入れ校に照準を合わせて選択するのがよいのですが、通学圏内に対象校がないとか、受け入れ校でなくても魅力を感じる学校があるという場合には、視野を広げて選択し、各学校に受験の可否を確認することも大切です。ただし、その場合には、先述したように国内生と同様な試験が課されることもありますので、特に日本の高校の学年相応の国語や数学を十分に学習しておく必要があります。国語には現代文のみでなく古文や漢文も含まれますし、数学は現地校で学習しているといっても、言語や解法が違いますし、履修していない分野が含まれていることもあります。どのような範囲で出題されるのかを、受験予定の学校に予め確認することをお勧めします。

#### Q. 帰国生入試のための対策を教えてください。

A. できるだけ早く受験予定校を決定し、各校の入試科目や出題傾向に合わせた学習をすることが大切です。帰国生中学入試では、国語と算数の2科目を課す学校が

目立ちますが、理科や社会も加えた4科目を課す学校や英語、作文を課す学校もあります。また、帰国生高校入試では、国語、数学、英語の3科目を課す学校が多いのですが、理科や社会を加えた5科目を課す学校や作文または小論文を課す学校もあります。また、ほとんどの学校で面接を課します。

各校の入試科目や出題傾向についての情報収集は、受験情報誌にも掲載されていますが、入試本番の1～2月は、新聞社や受験業界などのウェブサイトでも多数の受験情報が掲載されます。試験本番での心構え、今年の入試問題や解答・解説、出題傾向分析、そして受験対策や学校情報などを把握するにはもってこいです。

ここで掲載される入試問題は帰国生入試専用問題ではありませんが、帰国生入試で国内生の一般入試と同一問題を課す学校を受験する場合には、ダウンロードしてチャレンジするとよいでしょう。解答や配点があれば答え合わせや点数化もできます。合格最低点が公表されていれば、現時点での合格の可能性を図ることもできます。公表されていない場合でも、7割前後正解できれば合格の可能性があると考えてよいでしょう。例外はありますが、入試問題は合格ラインが3分の2くらいとなるように作成されているからです。

帰国生中学入試で一般入試と同一試験問題を課す学校は、一般入試の解禁日の2月1日以降に入試を行う学校が目立ちます。帰国生高校入試では一般入試と同一問題を課す学校が大多数です。入試において安定した得点力を身につけるためには、問題演習を繰り返すことが大切です。また、時間内にスピーディーに問題を解く練習を積むことも必要です。模擬試験はぜひ受験したいですね。海外では受験機会が少ないですが、一時帰国の際に受験するのもよいでしょう。



#### 執筆者のプロフィール

河合塾で十数年間にわたり、大学入試データ分析、大学情報の収集・提供、大学入試情報誌「栄冠めざして」などの編集に携わるとともに、大学受験科クラス担任として多くの塾生を大学合格に導いた。また、現役高校生や保護者対象の進学講演も多数行った。一方、米国・英国大学進学や海外サマーセミナーなどの国際的企画も担当。1999年に米国移住後は、CA、NJ、NY州の補習校・学習塾講師を務めた。2006年に「米日教育交流協議会(UJEEC)」を設立し、日本での日本語・日本文化体験学習プログラム「サマー・キャンプ in ぎふ」など、国際的な交流活動を実践。さらに、河合塾海外帰国生コース北米事務所アドバイザーとして帰国生大学入試情報提供と進学相談も担当し、北米各地での進学講演も行っている。また、文京学院大学女子中学校・高等学校北米事務所アドバイザー、名古屋国際中学校・高等学校アドミッションオフィサー北米地域担当、デトロイトりんご会補習授業校講師も務めている

◆米日教育交流協議会(UJEEC) Website: [www.ujec.org](http://www.ujec.org)